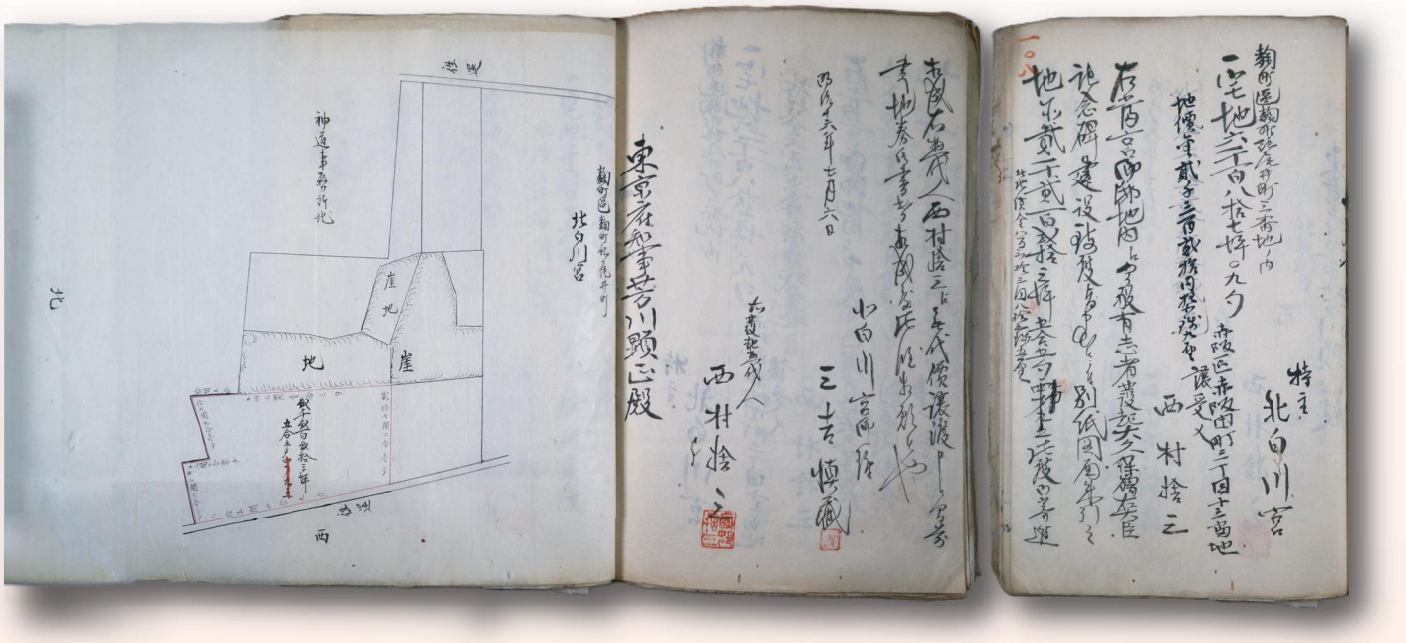
清水谷公園の由来



哀悼碑建設地の地券書換願　明治 16 年（1883）　請求番号：613.C8.17

市区改正事業で開設された公園の中から、特徴的な由来を持つ清水谷公園を紹介します。清水谷公園は明治23年(1890)３月に開園しました。この土地はもともと北白川宮家の御用地でしたが、明治11年(1878)に紀尾井坂で暗殺された大久保利通の哀悼碑を建立するため、発起人総代の西村捨三に下賜されました。哀悼碑は明治17年(1884)に完成し、市区改正事業で公園整備が進められると、東京市は西村から土地の寄付を受け、公園として管理することになりました。

開園前から植木職の江川定次郎がこの土地を管理していたこともあり、清水谷公園は新たな景勝地としてにぎわいを見せたようです。